

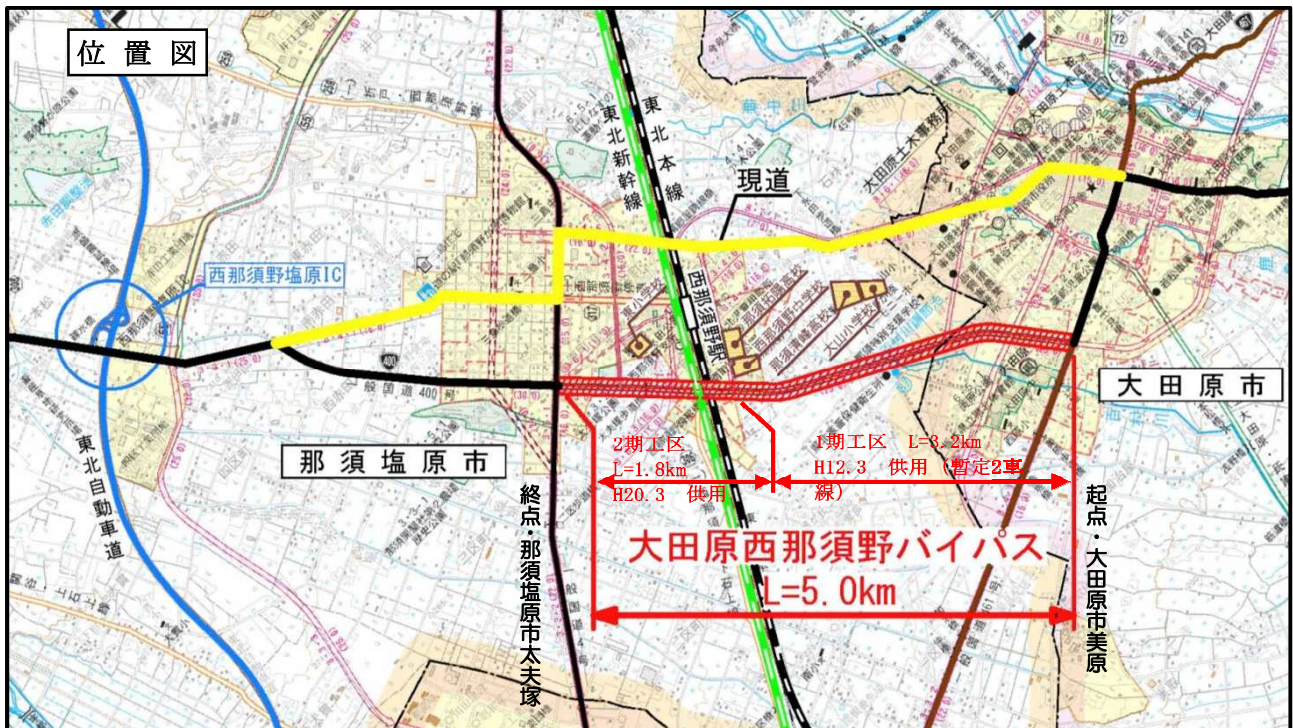
道路事業

一般国道400号 おおたわらにしなすの 大田原西那須野バイパス (平成21年3月供用)

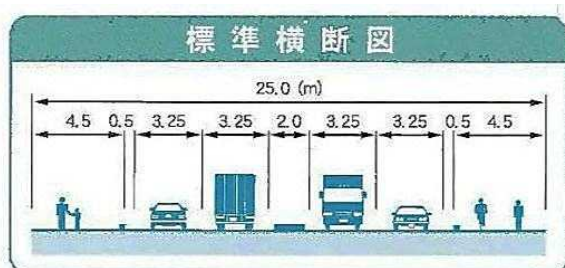
1 事業概要

一般国道400号は、茨城県水戸市を起点に本県北部を横断し、福島県西会津町に至る延長約118kmの道路です。特に、本県北部においては地域の産業・経済活動を支える道路として重要な役割を担っています。

大田原西那須野バイパスは、大田原市^{みはら}美原から那須塩原市^{たゆうづか}太夫塚までの5,020m区間において、バイパス整備を行うものです。



- ◆事業名：国庫補助道路改築事業
- ◆事業箇所：一般国道400号 大田原西那須野バイパス
(大田原市美原～那須塩原市太夫塚)
- ◆事業主体：栃木県
- ◆全体延長：5,020m
- ◆幅員：25.0m
(車道13.0m、歩道4.5m両側)
- ◆総事業費：約130億円
- ◆事業期間：平成元年度～平成20年度
- ◆主要構造物：西那須野跨線橋(JR立体) L=208m



2 事業の目的・必要性

本事業区間は、大田原市と那須塩原市を結ぶ重要な主要幹線道路でしたが、沿線の市街化によって交通量が増加し、慢性的に渋滞が発生していました。

このため、栃木県では大田原市と那須塩原市を結び東北自動車道西那須野塩原 IC へ直結する新たな都市間連絡道路を整備し、「安全で円滑な交通の確保」「大田原・那須塩原市街地間の交流の促進」「救急医療活動の支援」を目的に、平成元年度よりバイパス整備に着手し、平成 12 年 3 月に 1 期工区として、西那須野駅より東側約 3.2km 区間を暫定供用しました。更に平成 11 年度から残り区間の整備推進を図り、平成 21 年 3 月に全線区間を供用しました。

3 事業の整備効果等

<費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化>

- ・事業費 再評価時 約 130 億円 → 完成時 約 130 億円
- ・事業期間 再評価時 平成元年度～平成 20 年度 → 完成時 平成元年度～平成 20 年度

<整備効果>

【通過時間】国道 4 号～国道 461 号 間の比較(ピーク時)

大田原市街地から国道 4 号までの移動時間が短縮されたこと、西那須野塩原 IC へ直結するバイパスが整備されたことにより、多方面へのアクセス性が強化され、地域の活性化に寄与しています。

整備前 (H17.11.9)		整備後 (H24.5.17)	
現道	15分25秒	現道	13分16秒
		バイパス	9分55秒



- 現道を利用した場合の移動時間が 2 分 9 秒短縮できたほか、バイパスを利用した場合は、5 分 30 秒短縮できました。
→「安全で円滑な交通の確保」が図られました。
- 所要時間の短縮により、西那須野塩原 IC へのアクセス性も向上しました。

【状況写真】



【自動車交通量】

本事業におけるバイパス整備によって、課題であった現道の交通を転換させることができ、慢性的な渋滞が解消されました。

整備前 (H11 道路交通センサス)		整備後 (H24.5.17)	
現道	16,158 台/12時間	現道	11,182 台/12時間
		バイパス	12,764 台/12時間
		総交通量	23,946 台/12時間

●全体交通量が約5割増加し、「大田原・那須塩原市街間の交流の促進」が図られました。

【2次医療機関】

主要な高度医療機関への搬送時間が短縮されることにより、救急医療活動の支援に寄与しています。



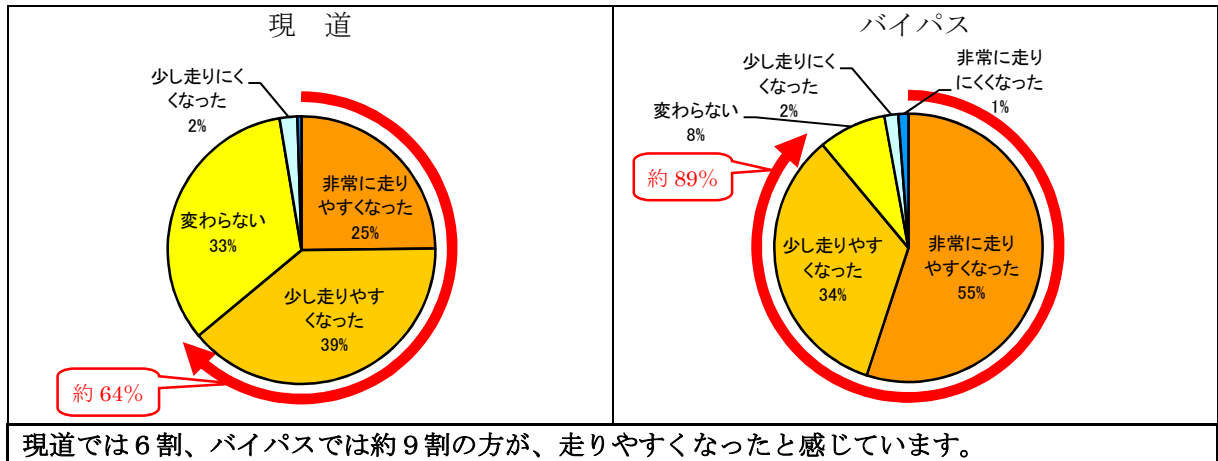
●搬送時間の短縮により、「救急医療活動の支援」が図られました。

4 地元の声

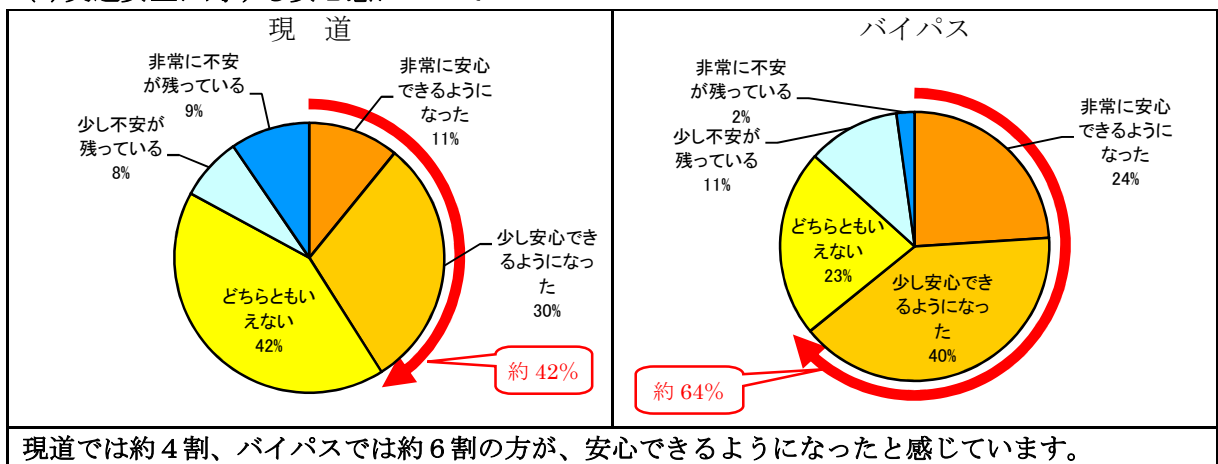
一般国道 400 号大田原西那須野バイパスの整備により、生活や環境などにどのような変化があったかを確認するためにアンケート調査を実施しました。

(回答数/配布数：425/510 件 回答率 84% ※有効回答数は設問により異なります。)

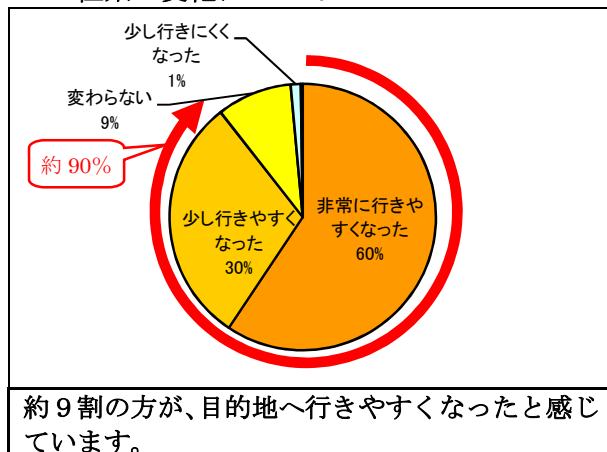
(1) 車での走りやすさについて



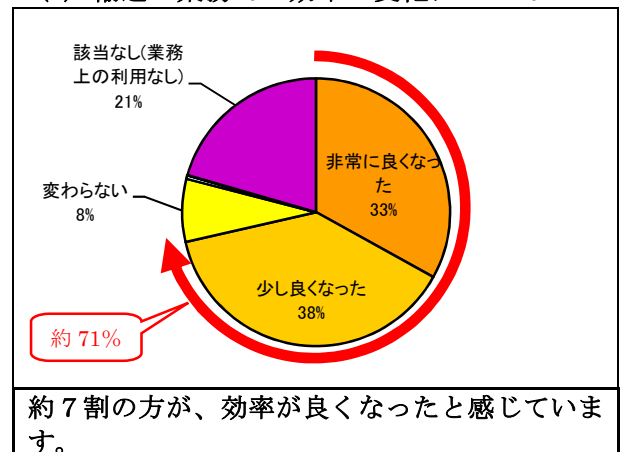
(2) 交通安全に対する安心感について



(3) 大田原市街と那須塩原市街の往來の変化について



(4) 輸送・業務での効率の変化について



(5) 自由意見

- ・西那須野塩原インターチェンジが近くなり、非常に便利になったので、家族と出かける機会が増えました。(30代 男性)
- ・便利になったので、東京で暮らす孫に会いに行く回数が増えました。(60代 男性)
- ・綺麗で安全な歩道が整備されたので、毎日のウォーキングが趣味になりました。(30代 女性)
- ・歩道橋を増設し、信号サイクルが良くなれば、さらに便利ですね。(40代 男性)
- ・街灯が少なく、夜のウォーキングが少し怖いです。(20代 女性)
- ・この地域では4車線の道路の走行に不慣れな方が多いので、周囲の車に注意して利用しています。(40代 女性)

5 事業による環境変化

特になし

6 事業を巡る社会経済情勢の変化

- ・平成24年7月 那須赤十字病院（旧大田原赤十字病院） 移転開院

7 今後の事業評価の必要性及び改善措置の必要性

交通量調査やアンケート調査結果により、事業の目的である「安全で円滑な交通の確保」「大田原市街・西那須野市街間の交流の促進」「救急医療活動の支援」は図られています。

このため、今後の事後評価及び改善措置の必要性はないと考えています。

8 同種事業への反映

本事業については、十分な効果を確認することができたとともに、アンケート調査では、更なる利便性向上の要望等、幅広い視点から多くの貴重なご意見等を頂きました。今後、バイパス事業の計画策定や工事の実施、供用後の維持管理等に役立てて参ります。

栃木県では、今後も県民の皆様のご意見をお聞きしながら、より良い道路行政の推進に努めて参りますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

栃木県 県土整備部 道路整備課

T E L : 028-623-2411 F A X : 028-623-2417
H P : <http://www.pref.tochigi.lg.jp/h04/index.html>
E-mail : doro-seibi@pref.tochigi.lg.jp

